

事業報告書 附属明細書

第 2 期事業年度

自 2025 年 7 月 29 日

至 2026 年 6 月 30 日

公益財団法人日本ウェルビーイング財団

公益財団法人日本ウェルビーイング財団

事業報告書

自 2025年 7月29日

至 2026年 6月30日

(事業の内容)

当財団は、「ひと社会も地球も、すべての生きとし生けるものがウェルビーイングである未来を創る」という理念のもと、社会課題の根本的・構造的な解決を目指すコミュニティ型財団として活動を推進している。

現代社会においては、孤立・分断、地域コミュニティの希薄化、環境問題、教育格差など、複数の課題が相互に関連しながら複雑化している。

当財団では、これらの課題を個別に捉えるのではなく、「課題を生み出している構造や関係性」に着目し、多様な主体との協働を通じたシステムミックチェンジ（構造的変化）の創出を目指している。

第2期においては、2025年7月29日に公益認定を受け、公募助成事業として、教育、地域、環境、ダイバーシティ等の多様な領域における実践を支援するとともに、対話・交流を通じた共創コミュニティの形成に取り組んだ。

当年度に実施した事業活動の概要は以下のとおりである。

1. Wellbeing 共創助成事業（公1）

システムミックチェンジ志向 ウェルビーイング共創助成
～つながりから創造する未来へ～

本助成は、単なる個別の社会課題の解決ではなく、「課題の根っこ」に向き合い、関係性や価値観、社会構造そのものを問い直す実践を応援することを目的として実施した。全国から93団体ものご提案をいただき、教育、福祉、地域コミュニティ、環境、居場所づくり、多世代交流、文化・芸術など、多様な領域において、人と人、人と地域、人と自然とのつながりを再生しようとする事業提案が寄せられた。

助成金総額（1,000万円）

（助成プログラム概要）

公募開始： 2026年1月19日（月）

公募説明会： 2026年1月28日（水）

応募締切： 2026年3月31日（火）

選考期間： 2026年4月～5月

採択決定： 2026年5月25日（月）理事会

助成金贈呈式：2026年6月8日（月）

選考にあたっては、書類審査に加え、外部の選考委員による対話審査を経て、下記の助成先が採択された。これらの助成先に対しては、助成期間（2026年6月

～2027 年 5 月）にわたって定期的に面談を実施し、継続的にモニタリングを実施するとともに、活動へのアドバイスなど継続的なサポートを実施していく。

さらに、助成先 3 団体と当財団、そして協賛企業等が共に学び合い、未来を育んでいくことを目的とし、共創勉強会（結らぼ）や資金調達を含む伴走支援、成果共有等を通じて、社会変革に資する実践と知見が循環するコミュニティづくりを進めていく。

助成先となる代表団体・共同体	助成する活動
株式会社キッチンハイク	「保育園留学」を起点とした次世代 ESG 投資モデルの実証と、LIFELONG GIFT が循環するエコシステム構築事業
特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス （協働パートナー：合同会社継青堂）	コンゴ紛争鉱物サプライチェーンにおける「資源の呪い」の構造可視化とレバレッジポイントの特定
一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会	一次産業ワーケーション®全国展開基盤づくり事業

2. 共創コミュニティ形成活動

当財団の理念「すべての生きとし生けるものがウェルビーイングである未来」及び助成事業等の成果を広く社会へ発信し、ウェルビーイング向上に取り組むパートナーと共に社会的インパクトの拡大を図るため、以下の取組みを実施した。

（当財団主催）

① 設立記念イベント

「未来を選ぶ。ウェルビーイングを築く。

～コミュニティとエコシステムの新たなカタチ～」

登壇者：井上高志、鈴木菜央、米良はるか、前野隆司

開催日：2025 年 12 月 9 日（火）

開催場所：丸の内二重橋ビル 16F 会場とオンラインのハイブリット開催

設立記念イベントは、会場及びオンラインのハイブリッド形式で開催（のべ 280 名が参加）し、当財団の設立趣旨及び目指す社会像を広く発信するとともに、多様な関係者とのつながりを形成する機会となった。

② THE WELLBEING WEEK2026

「今こそ考えたいウェルビーイング

～ウェルビーイングは、どこまで社会に根づいたのか。

そして、これから私たちは何を問い直すのか～」

登壇者：及川美紀、石川善樹、前野隆司

開催日：2026年3月18日（水）

開催方法：オンライン

ウェルビーイングを社会に根づかせるために必要な視点について、有識者による対話を行い、その内容をオンラインで広く発信した（151名が視聴）。

（他団体主催）

- ① 寄付月間 2025 パートナー賞受賞（寄付月間推進委員会 主催）

<https://japan-wellbeing-foundation.com/news/20260327>

- ② 日本経済新聞社メディアビジネス主催の「SWGs フェス」

（<https://events.nikkei.co.jp/80789/>）への登壇

「ローカル SWGs の事例～糸島での取り組み～」

<https://japan-wellbeing-foundation.com/news/20260422>

- ③ 一般社団法人トラスト・ベースド・フィランソロピー・ジャパン（以下、TBP-J）のアンバサダー

3. 法人運営体制の整備

当年度においては、公益法人として適正かつ透明性の高い法人運営を行うため、理事会及び評議員会を開催し、事業計画、収支予算、助成先の選考その他の重要事項について審議・決議を行った。

また、助成事業の公正性及び透明性を確保するため、公募要領及び選考基準を整備するとともに、外部有識者等の意見を踏まえた選考手続を実施した。

このほか、公益法人として必要となる諸規程及び事務局運営体制の整備、ウェブサイト等を通じた情報発信並びに寄附募集活動に取り組んだ。

以上

公益財団法人日本ウェルビーイング財団

事業報告書に係る附属明細書

自 2025年 7月29日

至 2026年 6月30日

該当なし

以上